



おはようございます。『最近だんだん涼しくなってきました。体調管理に気を付けましょう。』『台風が近づいてきています。雨や風に気を付けて登下校しましょう。』その通りですね。6年生、ありがとう。

最近、お月見〇〇など、よく耳にしますね。『中秋の名月』が近づいたからですかね。『中秋の名月』にススキとお団子をお供えして月を愛でる風習があります。それは平安時代に中国から伝わったと言われています。『中秋の名月』とは、明治5年まで使われていた月の満ち欠けを元に1か月が決められていたという暦『太陰太陽暦』の8月15日の夜に見える月のことを指します。農業の行事と結び付き『芋名月』と呼ばれることもあります。今年は10月1日が中秋の名月です。太陰太陽暦では、新月の瞬間を含む日が朔日（ついたち）になります。今年は9月17日が太陰太陽暦の8月1日にあたり、10月1日が太陰太陽暦の8月15日となるのです。今年の中秋の名月は満月ではないそうです。満月は10月2日です。中秋の名月が満月と日付がずれることはしばしばあるようです。夜が長くなり、美しい夜空が見られるようになる頃です。10月1日、中秋の名月、見ることができるといいですね。ところで10月1日と言えば、都民の日です。今年は午前授業ですが学校がありますよ。お忘れなく。

続いて、金星のお話をします。京都産業大学やアメリカ、イギリスなどのチームが、イギリスの科学誌『ネイチャーアストロノミー』に、金星の大気中に生命が起源の可能性のある特徴的な成分を検出したことを発表したそうです。『ホスフィン』という成分で、地球では酸素が無くても生きられる沼や湿地の微生物などによって作られるものです。チームは金星に生物が存在する確実な証拠ではないものの、考えられる他の化学反応では説明がつかず、未知の反応か、生命による可能性があるとしているそうです。生命の可能性を含めて、これからも調べていくそうです。興味深い話ですね。月と金星のお話でした。今週も、落ち着いて、元気に過ごしましょう。